

事務事業名	マーケティング事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	未来政策部	マーケティング課	マーケティング係	藤井 裕介

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		市民に開かれた行政経営		
	施策分野		市政に生かす情報収集・分析		
	めざす姿				
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	令和05年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	6,156	3,343	804
	人件費	22,301	25,220	21,686
目 的	総事業費	28,457	28,563	22,490
各種調査等を通じて市民ニーズを把握することなどにより、市政に生かす情報収集・分析につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		804
		合 計		804
手段、手法【実施手法：直営】				
調査内容や対象によって様々な手法を柔軟に取り入れながら、マーケティングリサーチを実施します。				

3. 活動内容

活動指標1	名称	収集した意識調査のサンプル数			単位	回
	内容説明	郵送調査・やまとeモニター・WEBアンケート				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	7	7	6	
		実 績	8	4	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	市政世論調査につきましては、対象者数を半数以上減らし、回答方法をウェブに限定した上で内製で実施することで、経費を大幅に削減しながら有用な調査結果が得られるか検証を行います。検証結果は市政世論調査に加え、意識調査のスキームの見直しにも活用します。					

事務事業名	広聴活動事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	未来政策部	マーケティング課	広聴・マーケティング係	藤井 裕介

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		市民に開かれた行政経営		
	施策分野		市政に生かす情報収集・分析		
	めざす姿				
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成22年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民及び各種団体		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	128	101	96
	人件費	25,230	27,785	26,104
目 的	総事業費	25,358	27,886	26,200
多様な手法で市民意見を幅広く聴取することで、市民ニーズを把握し、市政に生かす情報収集・分析につなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 ・市長が市民の集まる場所に赴き、市長が直接市民からの提案等を聴取します。 ・市民及び各種団体から寄せられる陳情等に対し、内容に即して迅速に回答や対応をします。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		96
		合 計		96
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	市長への手紙受付件数	単位 件
		内容説明	市長への手紙を受け付けた件数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	510
			実 績	625
成 果（効果・予測） 市民及び各種団体から寄せられる提案、要望、意見等から市政に対するニーズを把握した上で施策を展開することで、行政サービスの利用満足度と利便性向上につなげることができます。	活動指標2	名称	陳情・要望受付件数	単位 件
		内容説明	陳情・要望を受け付けた件数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	45
			実 績	39
	活動指標3	名称	現地現場広聴活動	単位 回
		内容説明	現地現場広聴活動の実施回数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	40
			実 績	73
課 題 ・市政に対して提案や意見などをしない、サイレントマジョリティと呼ばれる市民の声をより多く、どのように引き出していくか検討する必要があります。 ・広聴活動に寄せられた提案や意見がどのように市政に反映されたのかなど、課内で連携して分析していく必要があります。	活動指標4	名称	タウンミーティング	単位 回
		内容説明	タウンミーティングの実施回数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	20
			実 績	20

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	I：現状のまま継続
	幅広く市民の意見を聴取できるよう、具体的な活動内容を毎年検討し、必要に応じて変更していきます。聴取した意見と対応について、市民への情報提供を強化していきます。					

事務事業名	調査事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	未来政策部	マーケティング課	広聴・マーケティング係	藤井 裕介

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標	変化に対応できる行政経営		
	施策分野	機能的で強靱な組織運営		
	めざす姿			
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成21年度	令和07年度	17年	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市長、副市長		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	1,923	80	0
目 的	総事業費	1,923	80	0
政策先進事例等の調査等を行うことで、市長及び副市長に円滑な政策判断のための補佐をし、機能的で強靱な組織運営につなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 市長または副市長の指示により政策先進事例等の調査を行います。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

活動指標1	名称	特命調査件数			単位	件
	内容説明	市長及び副市長から特命を受けた調査の件数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	3	3	0	
		実 績	1	0	— — —	
	活動指標2	名称				単位
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			— — —
	活動指標3	名称				単位
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			— — —
	活動指標4	名称				単位
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			— — —

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅲ：廃止または終了
	マーケティング事業と調査事務の重複を整理し、統合の上、廃止します。					